



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 20 年 10 月 9 日(金)～12 日(日)  
まちなか美術展 編

■上町通り編

芸術の秋に添えて初めての企画「まちなか美術展」が開催されました。10月9日～12日の4日間、上町通りと西大通り商店会協働での催しです。上町通りでは、上町ほっとステーション、サンピノ、中央商店会協賛店の店頭にて能代養護学校美術部の作品や卒業生の平川慧さんのシールアート、かとうのりこさんの創作童話を展示し、西大通り商店会では、協賛店の店頭にて湊城幼稚園園児の作品を展示して、市民の皆さんに子ども達ののびのびとした作品と町歩きを楽しんでもらおう、私たちの商店街に来てもらおうというものです。

これはまち灯りの鍋スタンプラリーで知り合った、すみれ会と西大通り商店会の交流から生まれた企画で、すばらしい作品をみんなに紹介できたらな～という思いから始まり、視察研修で行った会津若松の商店のウィンドウ活用を参考にし、考えられたものなのです。春からすみれ会のメンバーと西大通り商店会が話し合いを重ね、商店会や自治会、新聞社の協力の下、チラシ作り、配布や宣伝など準備を進めてきました。今回は展示だけでなく各商店独自の催し物やイチオシ商品を出してもらい、チラシの裏に「まちなかマップ」として掲載し、それぞれ各商店を宣伝してみました。企画がだんだん形になってきて、わくわくしてきます！

ここからは上町通りについて。開催前日、ほっとステーションでは展示にあたって、すみれ会メンバーがアイデアを出し合い、花がいっぱいのすてきな空間を作ってくれました！各店もそれぞれ工夫をこらして展示し、歩道の花々とともに色あざやかな通りとなったのです。そしていよいよ「まちなか美術展」の始まりです。台風と人出が心配ではありましたが、台風がそれて幸先の良い出だしとなり、終わってみれば300人近い人がほっとステーションに来てくれました。それに通りをあちこち見て歩く人、サンピノからずっと歩いて見えましたと言う人もたくさんいました。最終日にはなんとスギッチが来てくれてみんな大喜び！ほっとステーションに置いた「一言感想ノート」には「作品を拝見して元気をいただきました」「何者にもとらわれない生の芸術！」「やさしい心になったような気がします」など、たくさんのあたたかいメッセージ



ホッとステーションの内外はいつもにも増して色鮮やかな季節の花々でいっぱいです。



スギッチをはじめたくさんの方が作品鑑賞においでになり、まち歩きも楽しんで下さいました。



スギ塀はぬくもりあるアート作品の展示にも向いていることを再発見。大きさや配色にも工夫して楽しい空間を演出しました。



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

が書かれていて、私たちまで励ましてもらったようで本当に嬉しかったですね。協力店の感想も好評で、良い企画だった、見てもらうと自分の作品をほめられているような感じだった、また来年もやってほしいという意見がありました。開催日程は一週間くらいがいい、他の行事と重ならないように、など貴重な意見もあって、のこ事を考えてくれていることにありがたい思いでいっぱいです。養護学校の子供達や先生、かとうさんもとても喜んでくれました。何ととっても、大らかであったかい作品とたくさんの協力があつたから、ここまでできたのだと思います。上町通り、西大通り商店会と一緒にできたこと、これをまた次ぎにつなげていければいいですね。

文： 上町すみれ会 平山はるみ

■西大通り商店会編

報道される台風情報にハラハラしながら、本事業を支えて下さったたくさんの方々の熱い思いの中で、上町・西大通り商店会協働の「まちなか美術展」を10月9日秋晴れのもと開催することができました。芸術の秋に添えて、西大通り商店会では、湊城幼稚園の絵画を協賛店店頭に表示いたしました。スグッチと一緒に園児たちが、商店会に足を運んでくれて、みんなで「とんぼのメガネ」「となりのトトロ」を合唱しました。参加して下さったみなさんの笑顔いっぱいの(もちろんスグッチもです！)あたたかいスタートをきることができました。そして店頭を飾った子どもたちの作品は、昨今様々な課題と向き合う商店会に、大きな希望と力強いパワーを与えてくれました。足りないものを嘆くよりも、今、在るものに目を向けることの大切さを「まちなか美術展」を通して出逢った人々、そして出来事のひとつひとつから教えてもらいました。

イベント自体の評価は々なご意見があると思いますが、この度の「まちなか美術展」を開催したことは、街を思う心は全ての人の心に繋がっていくということを教えられた大切な、大切な貴重な一歩だったと私たちは信じています。そして、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。来年の「まちなか美術展」を誰よりも楽しみにしているのは、たくさんの方のことを教えられた実行委員のスタッフひとりひとりなのかもしれません。

文： 西大通り商店会 安岡里江



作品はサンピノ内にも展示しました。西大通り商店会では園児たちの作品が店頭を飾りました。



色鮮やかな作品達のおかげでふだんとは違うお店の通りとなりました。